

仏教保育

9
Sep.

伝えよう ^{いのち} 生命の尊さ ^{ほとけの} 心



緑谷
大会委員長



八木大会会長



山田知事



日野大会
実行委員長



門川市長

献花・献灯・献香



感謝状と支部旗贈呈



日仏保奨励賞受賞



古屋賞受賞
宮城支部



古屋賞受賞
福島支部

7月26日・27日、悠久の歴史を刻む京都の「ウエスティンホテル京都(全体会)」並びに「京都華頂大学・華頂短期大学(分科会)」を会場に、主催・公益社団法人日本仏教保育協会(緑谷一雄理事長)、実施・全国仏教保育京都大会(日野昭文大会実行委員長)は、「第33回全国仏教保育京都大会」を開催しました。

『うだる暑さ』で知られる京都ですが、折からの台風之余波を受け第一日は37度という激暑。『つつまれる いのち』の大会テーマのもと、少子化を生き抜く子どもたちへの教育・保育の方向性や子育て支援を考える新たな仏教保育のスタートを目指した講座や実技など、仏教保育者としての研修を深めた実り多い大会となりました。

二日目は流れるような豪雨に見舞われましたが、全国から参集した1000名余の先生方は「つつまれる いのち」仏教保育の新しいデザイン」

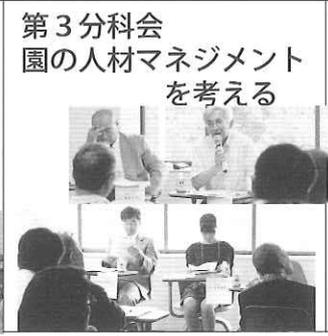
また、主会場でのセレモニーは絢爛華麗にして荘厳。名刹・古刹の仏教の都を余すところなく現出させた演出に、京都の先生方の創意・工夫と並々ならぬ苦勞が窺えました。

第33回 全国仏教保育京都大会
「こどもがひかり輝く保育・教育を考える!!」

京都の夏を彩るのは「祇園祭」。7月1日から1か月間にわたって行われる夏の風物詩です。京都駅を出ると、女性の浴衣姿が目に見え、飛び込んでいきます。ホテルのロビーを抜けると全体会場に向かう長い通路の両サイドに京都の名産の品々が並べられ、受付ではスタッフの皆さんの優しい笑顔が、遠来からの人々を温かく迎えてくれました。

全体会

12時30分、「第33回全国仏教保育京都大会」の幕が上がりました。会場の照明が徐々に薄れ、♪あたたかいひのひかりに つつまれて♪ という大会テーマソング『つつまれる いのち』の歌が静かに流れています。やがてメロディーのつて 献花・献灯・献香の儀式がしめやかに行われました。音楽法要に次いで、八木季生大会会長(公社 日本仏教保育協会名誉会長)から、本大会が仏教の都、京都で開催される意義を述べられ、「幼児期の教育は、一国の将来を左右します。この大会がこれからの時代に相応しい仏教保育の糸口となることを願います」と挨拶されました。



続いて、「緑谷一雄大会委員長（公社日本仏教保育協会理事長）は、「来年度からスタートする子育て支援の新しい制度はまだ見えないところがありませんが、本大会ではこうした動きを背景に『つつまれる いのち』のテーマのもとに考察したプログラムとしていきます。仏教保育の明日への糧として頂きたいと思います」と述べ、京都支部の熱意と努力に感謝の意を表しました。

次いで、実施主体である日野昭文大会実行委員長は「天候不順の中、全国から1000名にあまる先生方がご参加くださいましたこと、心から感謝申し上げます。人々のライフスタイルは大きく変わり、働き方や子育ての考え方に大きな変化が表れてきています。私たち幼稚園・保育所に対しても、保護者や行政から新たな役割を期待されています。こうした背景をにらんで本大会の企画を立案しました。併せて、古都や古刹だけではない、新しい京都の顔、素晴らしい文化と教育の都であることも知って頂きたいと願って、懇親会においても、私もスタッフがおもてなしのこころ」を込めて企画・構成しました。充実した二日間になりましたよう祈念します」と歓迎の言葉がありました。

続いて、「古屋賞・仏教保育奨励賞」の授与式です。

「古屋賞」は、宮城支部と福島支部に授与されました。平成23年3月11日の東日本大震災による被害は甚大でし

たが、両支部加盟園はその家族、地域社会への物心にわたるサポートを行ってきました。両支部が仏教保育の灯を護持してこられたことに対して顕彰されました。

「仏教保育奨励賞」は、現場において仏教保育に功労のあった保育者に対するもので、上田直子先生（兵庫県・松風幼稚園）、安田典代先生（兵庫県・松風幼稚園）のお二人に贈られました。

ご来賓からは、山田啓二京都府知事ならびに門川大作京都市長から交々、「高い専門性と経験を持つ皆さんの役割と期待は益々大きくなります。少子化対策は京都としても大きな政策課題として位置付け、オール京都体制で積極的に取り組んでまいります」と、心強いお祝辞を頂きました。そして仏教保育三綱領主唱のあと、大会を主管された労を感謝して京都支部に感謝状と支部旗が贈呈。

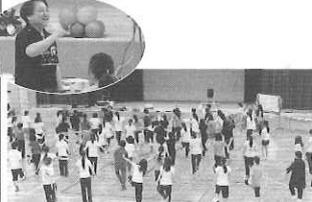
引き続き、次期大会（第34回）開催地となった福島県の吉岡棟憲支部長から、「原発被害の爪痕は未だ残っているが協力して園運営に努力し、支部結成を果たした。その意気込みを大会へ繋ぎたい」と、大会開催への意欲を披露されました。

ここで、全員起立して「仏教保育の歌」を斉唱。そして大会宣言文（案）が読み上げられ、満場の拍手でこれを採択し、音楽の音色が静かに漂う中、開会式の幕が降ろされました。

ここで、全員起立して「仏教保育の歌」を斉唱。そして大会宣言文（案）が読み上げられ、満場の拍手でこれを採択し、音楽の音色が静かに漂う中、開会式の幕が降ろされました。

ここで、全員起立して「仏教保育の歌」を斉唱。そして大会宣言文（案）が読み上げられ、満場の拍手でこれを採択し、音楽の音色が静かに漂う中、開会式の幕が降ろされました。

ここで、全員起立して「仏教保育の歌」を斉唱。そして大会宣言文（案）が読み上げられ、満場の拍手でこれを採択し、音楽の音色が静かに漂う中、開会式の幕が降ろされました。

<p>第8分科会 こころ揺さぶる体験「パ ネルシアター」で遊ぼう！</p> 	<p>第7分科会 人権を考える～帰国子 女のいじめ体験から～</p> 	<p>第6分科会 特別支援 子どもがかわる、親が かわる、先生も かわる</p> 	<p>第5分科会 「音楽法要」って、 な～に？</p> 
<p>第12分科会 絵本はライブ！</p> 	<p>第11分科会 みつつのいろから ひろがるふしぎ</p> 	<p>第10分科会 ポンちゃん 簡単ピアノ講座</p> 	<p>第9分科会 輝くいのち カラダも ココロも育つ運動あそび</p> 
<p>第16分科会 高台寺「ねねの子育て」 東山散策</p> 	<p>第15分科会 自然法爾 ～法然院の森で山遊び～</p> 	<p>第14分科会 一期一会のおもてなし</p> 	<p>第13分科会 こころを包み こころ を贈る ふろしき結び</p> 

小憩のあと、基調シンポジウム。テーマは「新しい保育・教育のあり方を探る」。シンポジストは、河野大 通氏（前全日本仏教会会長）、秋田喜 代美氏（東京大学大学院教育学研究科 副研究科長・教授）、小泉英明氏（日 立基礎研究所役員待遇フェロー）。田 中雅道氏がコーディネーターを務め、 3時間余にわたって仏教保育における 教育・保育の目標と方法など、それぞ れの立場から語られました（要旨次 号）。

全体会の締め括りは「RUKAPON（ル カボン）コンサート」のお二人の楽し いコンサートです。ルカボンは、子ど もたちに遊び歌、手遊び、運動遊びで 活動を広げており、作詞・作曲も多く、 幼稚園や保育所での活動も広く展開し ているそうです。後半では会場から大 勢の先生方も壇上に登り、賑やかで楽 しいコンサートになりました。こうし て、全体会は滞りなく終わりました。

懇親会

全体会の会場は、19時から懇親会場 に変わりました。およそ700名の先 生方が丸いテーブルに着いた風景は、 雄大なパノラマを感じさせます。ス タッフの先生方は着物に着替えられ、 接待に駆け巡っています。京都の心意 気が伝わってきます。

舞台の袖には菰を被った「伏見の酒」 がズラリと並んでいます。舞台は「竹」

をモチーフにして飾られています。舞 台脇には京都西洛竹大筒が設えられ、 京洛の幽玄な竹林を連想させます。そ の舞台に、三味の音色に載って祇園の 舞妓さんが艶やかに踊りを披露して くれました。

やがて小太鼓・太鼓が響きわたり、 会場は佳境に入っていきます。そして 程よい酔い心地に浸るころ、大勢の舞 妓さんがテーブルを巡りお酌のサービ ス、思わず笑みがこぼれます。

極めつけは、「ゴールデンベアーズ チアリーダー」（箕面自由学園・チアリー ダ部）の皆さんによる演技です。優勝 14回、2001年から2009年まで 9連覇を果たした伝統を受け継いだ熟 練された演技に、会場は感嘆の声で埋 まりました。終始こころにくいまで に行き届いた、京都の「おもてなし」 ぶりでした。

宴の締め括りは、次回全国大会を開 催する福島支部の皆さんの「2年後、 福島で会いましょう」の呼びかけでした。

分科会

翌日は、京都華頂大学、華頂短期大 学での分科会（第1〜14）、15分科会 は法然院、16分科会は高台寺で行われ ました。

いずれの会場でも京都支部の先生方 の気配りが行き届いていて、快適に 研修の実を上げることができたよう です。

「第33回全国仏教保育京都大会」を終えて



大会実行委員長 日野 昭文
(京都仏教保育協会会長)

このたび、第33回全国仏教保育京都大会を開催させていただきましたところ、全国遠近各地から予測を超えるご参加をいただきまして、厚く御礼申し上げます。只今は、歴史のある保育大会として本当にあれでよかったのか、ご参加の皆様にはご満足いただけたのか、達成感と高揚感が収まるとともに、後悔と反省の思いが募っております。

思い返すと4年前、福岡大会の後、故上村映雄理事長先生からの打診をいただいていた以来、「他の組織に類を見ない日仏保の仏教保育の全国大会とは何か。京都らしい保育大会とは何か」を考え続け、おぼろげながら概要らしきものがまとまりかけたのが2年半前でした。2年前の栃木大会で地域の自然や環境を巧みに取り入れた運営を学ばせていただいて、京都ではベテランの園長先生から若い先生にいたるまで、是非とも京都に行きたいと思っております。どうかそのような保育大会にしたいという思いが高まりました。

幸いにして、京都は各宗ご本山の集まる仏教都市、歴史・文化都市、国際観光都市、学術文教都市など多彩な顔を持つ都市です。研修の中にもそれらを楽しむ企画が次々と提案されて、実行委員のネットワークによってその実現にむけて吟味を重ねることができました。全国大会の準備をおおして、私たちは、仏教保育の実践者としての責任を一層自覚することができました。

実行委員会は、幼保の垣根を越えて幼児教育、保育について親しく、深く語り合える場でもありました。制度の違いはあっても、乳幼児の幸せを願う同士の存在と、新たな太い絆を確認し合えたことが、本大会を開催させていただきました最大の成果であったと認識しています。

最後になりましたが、全国から京都大会へお寄せいただきました数々のご厚情に衷心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

第二次安倍改造内閣「経済再生・地方創生」向けスタート!! 祝・ご入閣おめでとうございます!!

9月3日、第二次安倍改造内閣は皇居での認証式を終え、正式に発足しました。

「脱デフレを確実にし、経済の活力を増す。日本の平和を確保する完全保障法則を整備する」。そのため布陣だと、第二次内閣の組閣について安倍総理は語っています。

文部科学大臣に下村博文氏、厚生労働大臣に塩崎恭久氏が新たに入閣し、仏教保育振興国会議員懇話会のメンバーからは小淵優子氏が起用されました。小淵氏は、平成9年の安

倍内閣誕生時に文部科学政務官を務められ、以来、その手腕は高く評価されており、少子化相も歴任された安倍総理の信頼厚い人材です。

「子ども・子育て支援新制度」を支える経済再生・消費税アップとどう向き合っていくのか、そのリーダーぶりが期待されています。

ここにご芳名を掲げ、謹んでお祝い申し上げます。併せて、仏教保育の振興に更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。



文部科学大臣
下村 博文 60
(しもむら はくぶん)

自民、衆⑥、東京11区、文科政務次官、官房副長官、早大



厚生労働大臣
塩崎 恭久 63
(しおざき やすひさ)

自民、衆⑥、参①、愛媛1区、外務副大臣、官房長官、東大



経済産業大臣
小淵 優子 40
(おぶち ゆうこ)

自民、衆⑤、群馬5区、少子化相、党政務副会長、早大院



各宗派

夏期保育大会

研修会・講習会 報告

真言宗智山派

「第52回 智山保育大会」報告

村磯 頼裕

去る7月24日(木)・25日(金)の両日、真言宗智山派寺院付属の幼稚園と保育園の14園約70名が集い、本宗の大本山であります、川崎大師平間寺様を会場として、第52回智山保育大会が開催されました。

開会式では、本大会会長の真言宗智山派事務総長 小宮一雄



僧正より「仏教保育の観点から『幼児の健全育成』という崇高な教育活動に専心されておられることに、敬意を表する」とのご挨拶をはじめ、宗内外の多数のご来賓にご臨席、ご挨拶を賜りました。その後、永年勤続者表彰、祝電を披露し、開会式を終了いたしました。

第一講は成田真由美先生(一般社団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員理事/パラリンピック水泳選手)より「自分の可能性を求めて」というテーマにて、ご講演をいただきました。

中学生時代に下半身麻痺となり、その後も大きな手術や長期の入院を繰り返すなどの大きな困難にもあったこと。また、アトランタ・シドニー・アテネ・北京と四大会連続出場し、合計15個の金メダルを獲得した際の

お話や、ご自身の経験談からの人との接し方、物の考え方などの貴重なお話を頂戴いたしました。

その後、川崎日航ホテルに場所を移して、懇親会を開催し、一日目は終了いたしました。

二日目は朝6時より、川崎大師平間寺御貫首藤田隆乗大僧正が御導師をお勤めする中、朝

曹洞宗

「保育研修大会に参加して」

山本 真弥

今回の保育研修大会に参加し、たくさんの事を感じ、学ぶことができました。

一番印象に残っていることは、子どもは大人(保育者)の真似をする、という言葉です。

基本的なことですが、改めて聞くとハッとしました。今の私は、子どもたちに真似をされても大丈夫なのか、見本になれているのかと考えました。普段の保育の中で、子どもたちにどう成長

動行に参列し、第二講は川崎大師平間寺執事 出井宏樹僧正のご指導の下、「般若心経」の写経実習を行いました。そして、第三講は川崎大師平間寺法務課主任 糸井龍祐僧正より「合掌」というテーマでご法話を頂戴いたしました。

最後に閉会式を行い二日間わたる研修は盛会のうちに無事終了しました。

限られた時間の中で講師をお勤め頂きました先生方と会場を快くお貸し下さった川崎大師平間寺の皆様へ感謝を申し上げ報告とさせていただきます。

して欲しいのか、どんな遊びを提供し楽しんでもらうか、声かけは的確だったか等は、よく職員同士話し合うことはありました。しかし、自分自身の行動、言葉遣いは正しいか等、振り返ることは少なくなっていると気づきました。言葉遣い、行動、人への接し方等、すべてが子どもたちに影響すると改めて感じ見直し、真似をされても良いという自信と自覚を持って保育を

日本仏教保育協会編集による出席カードです。仏教行事を楽しみ絵柄で構成しています。

はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード(仏教版)2012年度版 税込390円(本体価格372円)

出席シール(仏教版)2012年度版 税込280円(本体価格267円)

〒113-8611 東京都文京区本駒込6-14-9 電話03(5395)6608 <http://www.troebel-kan.co.jp> フレーベル館



していきたくと思います。

大本山永平寺の生活では私にとつてすべてのものに感謝をすることの大切さを学びました。また、今の生活はとても贅沢なことだと実感しました。自分はずべてのものに「生きさせて頂いている」という気持ちをお忘れなないようにしなければいけないと感じました。

特に食事では、すべてのものに命があり、それを頂いていること。ですから、「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶は、食べ物への感謝の気持ちを込めて食前食後のあいさつは、しっかりと気持ちを込めて言うことの大切さを伝えていきたいと思えます。

永平寺での生活は私の生活とは全く違ったもので、夜9時の開枕、朝3時の起床、坐禅、朝課三度の食事すべてが新鮮で、またその中で自分を見つめ直すことができました。普段の生活では、楽しいことはたくさんありますが、無駄にしていることもたくさんあり、物や時間を無駄にしていることが多いと感じました。子どもたちにも永平寺での生活を話し、すべてのものを、大切に、感謝する気持ちを持つてもらえるよう伝えていきたいと思えます。

日蓮宗保育連盟

「第60回日蓮宗保育研修神奈川大会」を終えて

荒居 養雄

『慈悲のこころ』『抱きしめよう!!未来を担う小さないのち』の研修テーマのもとに、日蓮宗保育連盟主催の平成26年度第60回保育研修神奈川大会は7月26日、27日の二日間、神奈川県横浜市新横浜国際ホテルを会場に開催されました。日本全国から、連盟加盟の幼稚園、保育園、大学等より約320名余の設置者、園長、教諭、保育士、職員等が参加し実施されました。

大会一日目、開会式において、地元かぐのみ幼稚園教諭による、献灯・献華、参加者による宗歌「立ち渡る」讃仏歌「ささぐみあかし」「蓮の花」の斉唱、法味言上と続きました。

主催者 濱田文護理事長挨拶



後、日蓮宗務総長 小林順光様をはじめ、地元ご来賓の各聖よりご祝辞を頂きました。その後、永年勤続者(30年3名、20年3名、10年14名)の表彰、記念写真撮影と続き、開会式は閉式いたしました。続いて『気になる子』をみんなで見守り育むの演題のもと、国立特別支援教育総合研究所企画部総括研究員 久保山茂樹先生より講演を賜り、現場の

教員保育士、保護者に対し支援の在り方をご教示頂きました。夕食の懇親会は、地元高津幼稚園教職員の太鼓やダンスのパフォーマンス、健太康太のライブショーなどで、和やかな交流の場となりました。

大会二日目は、神奈川県葉山町神奈川二部社教会長 山本貫恭上人により「稲村の火」の演題で晨朝法話。日頃より日蓮上人伝等の布教活動に紙芝居を活用している実践例と、紙芝居を通して人々との繋がり大切さを拝聴しました。

続いて、鎌倉育ちで、ファッションデザイナーとして現在活躍されている館鼻則孝氏から「見つめる力」の講演。氏は東京芸大で染織を専攻し花魁の研究から着物や下駄の制作へ移り、現在はあの有名なレディーガガの靴を製作している話と、幼少の頃からシユタイナー教育に基づく母親の影響が後に手でものを作る素地となった等、貴重な講演を拝聴しました。

これと並行し別室では定例総会を開催し、予定の議案はすべて承認されました。

閉会式では、宮城県立正幼稚園 武内真由美先生から参加者代表謝辞があり、続いて来年第61回宮城大会の開催地ひかり幼稚園 風間文静先生から挨拶を戴き本大会は無事閉会しました。

「ほとけの子」は保護者向けの月刊誌です。心の豊かさが求められる今日です。仏教保育を主眼とした内容、特に年5回の仏教行事の特集は、行事説明だけに終わらない、その道の諸先生方の御健筆が冴えています。御購読下さいますようお願い下さい。

公益社団法人 日本仏教保育協会編集



月刊

定価120円(税込)

株式会社 宣協社

〒150 東京都渋谷区鶯谷町7-7 OHビル201号
TEL. 03-3463-1931(代) FAX. 03-3463-0608



広島市北部の土砂災害で犠牲になられた方々のご冥福と、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

今夏、西日本一帯を襲った想像を絶する局地的豪雨は多くの人命を奪い、各地に大きな爪痕を残しました。なかでも山を崩し、家を飲み込み、道を閉ざした広島・安佐地区の土砂災害による惨状には、述べる言葉もありません。亡くなられた人の数は日ごとに増え、発生から2週間余経た今もなお、行方不明の救助作業は困難を極めているようです。

土砂災害が起きた山の斜面は、花崗岩が風化してできた「まさ土」と呼ばれる土が堆積していたそうです。まさ土は、

さらさらとした砂のように脆い土で、大量の水を含むと崩れやすい性質をもつと言われています。安佐地区を襲った20日未明の激しい雨は、まさ土の層を崩し住宅を飲み込み、押し流しました。睡眠時間帯であったことも被害を大きくしたようです。現在の予報技術では、このような局地的豪雨の予報は難しいとのことですが、それにしても「今少し早く避難勧告」が出せなかったのか…本当に残念でなりません。

被災された皆さまには謹んでお見舞い申し上げますと共に、

亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。併せて、被災者の皆さまのご健康と被災地の一日も早い復興を心から願っています。

公益社団法人日本仏教保育協会
理事長 緑谷一雄
社員一同

暑中見舞 (敬称略)

ありがとうございました

ありがとう

園理事長・園長 古賀 成麿

〒812・0017 福岡市博多区美野島2・6・31
TEL 092・441・9715

光應寺保育園

園長 村上 真瑞

〒461・0003 名古屋市中区筒井1・7・52
TEL 052・935・2172

建中寺幼稚園

学・西願寺学園 あずま幼稚園

日仏理事長 丹羽 義昭

〒340・0032 埼玉県草加市遊馬町430
TEL 048・925・1741

明願寺学園

園理事長 花田 郁実

〒809・0034 福岡県中間市中間4・8・2
TEL 093・246・1998

希望舞台プロジェクト 公演のご案内

「焼け跡から」

希望舞台については、水上 勉さんの代表作として知られる「釈迦内枢唄」の上演を機に、公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長）は公演を推薦してきました。釈迦内枢唄に続く「焼け跡から」の上演も引き続き推薦してきましたが、このほど東京・中野で上演されることになりましたので、ご案内します。ご鑑賞くださいますようお願い申し上げます。

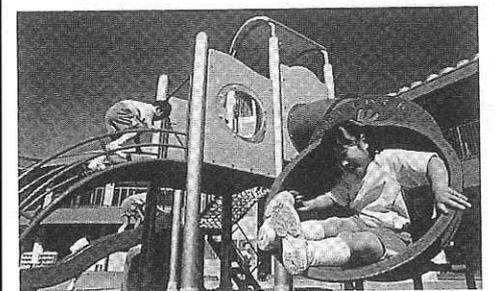
記

日時：2014年11月28日（金）
18時30分開場→19時00分開演

日時：2014年11月29日（土）
13時00分開場→13時30分開演
18時00分開場→18時30分開演

会場：中野ゼロホール（小ホール）
【JR中野駅南口下車徒歩7分
（線路に沿って新宿方向）】

- 一般前売り 3000円（高校生以下、障害手帳お持ちの方 1500円）
- チケットのお申込み
 - ・なかのZEROチケットセンター
TEL 03 - 3382 - 9990（10時～19時）
 - ・希望舞台（TEL 0493 - 81 - 3813）
 - ・主催 「焼け跡から」上演サポート委員会
 - ・後援 中野区福祉協議会
 - ・推薦 （公社）日本仏教保育協会／東京都仏教連合会



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp



事務局日誌

- 8 / 1 浄土宗本願寺派「仏教保育大学講座」
(真宗大谷派と合同) 於…本願寺
- 8 / 18 ~ 20 「まこと」の保育講座 (真宗大谷派と合同) 於…本願寺
- 8 / 6 ~ 8 曹洞宗「第61回保育研修大会」 於…永平寺
- 8 / 22 真言宗豊山派「夏季保育研修会」 於…真言宗豊山派宗務所
- 8 / 26 天台宗「夏季保育…天台保育推進しよう」 於…栃木県日光市

「つもりちがい」

この夏、久しぶりに郷里の香川に帰省し、両親のお墓参りをしました。数年ぶりの墓参の後ろめたさと多少の懺悔の思いから、近く(高松市)にある四国88カ所霊場第80番・別格本山「讃岐国分寺」へ参拝しました。創建は不明ですが、756年には完成していることが日本書紀に記されているとのことです。山門をくぐり、参道を抜けながら金堂跡の礎石や七重塔礎石など眺めつつ本堂に向かいます。本堂の前に立つて日頃の不信心を詫び、光明真言など唱えているうちに胸のくもりも晴れ、爽やかな気分になりました。

そのご本山で、面白い「人生訓」を見つけました。ご存知の方もいらっしやるかも知れませんが、ちょっとご紹介したいと思います。

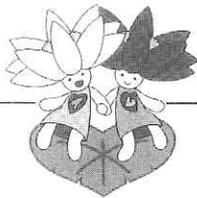
【つもりちがいの人生訓】

- ・高いつもりで低いのは教養 低いつもりで高いのは気位
- ・深いつもりで浅いのは知識 浅いつもりで深いのは欲望
- ・厚いつもりで薄いのは人情 薄いつもりで厚いのは面の皮
- ・強いつもりで弱いのは根性 弱いつもりで強いのは自我
- ・長いつもりで短いのは一生 短いつもりで長いのも一生

編集後記

■記録的な暑さと豪雨が列島を駆け巡り、熱中症と災害に泣いた夏もようやく終わりに近づいたようです。久しぶりに見る子どもたちの元気な姿を、先生たちは優しい笑顔で迎えておられることでしょう。子ども・子育て支援制度への移行の有無を判断する時期が迫ってきました。その新制度を見据えた各都道府県の2015年度予算の概算要求も出そろいました。関係省庁では少子化危機突破へ向け、「女性の結婚、妊娠、出産、育児の切れ目のない支援をする」とした概算要求は101兆円と、初めて100兆円を超えました。保育所の受け入れ拡大、保育の拠点整備、育児復帰支援など育児との両立、といった女性の直接支援策をメインに打ち出し、保育拡充に力点を置いています。消費税率のアップを想定しての積算とも思われますが、少子化対策への効果を期待したいものです。■来年度から認定こども園への補助の仕組みが変わることで減収になる園が出てくるという見込みから認定を返上し、幼稚園などに戻ることを検討する動きが出てきています。認定こども園の返上が拡大して行けば、子育て支援新制度の目玉として支援を拡充し、認定こども園を普及させようとする国の方針の根幹が揺れることにもなります。移行するかどうかが、慎重の上にも慎重を要します。(O・I)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

- 慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
- 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
- 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさと(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000 (8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵／諸橋精光 画面38.2x26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版